

夏のオープンラボ  
新しい骨董 (こっとう)

2018年7月14日(土)～9月17日(月・祝)

広島ゲンビがお届けする夏の新企画！美術館が実験場に？

「夏のオープンラボ」は多彩な表現活動について様々な方法による紹介を試み、美術館活動の可能性を探る企画です。

3人寄れば文殊の知恵？異なる分野で活躍する3人が繰り広げる「ユル楽しい」大人の自由研究とは…

「新しい骨董」は、下道基行（アーティスト、1978-）、山下陽光（ファッションブランド「途中でやめる」主宰、1977-）、影山裕樹（編集者、1982-）の3名による、実験的な活動を行うグループです。

街中やインターネット上に溢れる「“新しい骨董”とでもいうべき何か」の探索や実践を通して、新しい価値、新しい美を探究しています。

本企画では、そんな彼らによる、自由（すぎる）研究が繰り広げられます。

●新しい骨董 <http://atarashiikotto.com>

作家紹介

●山下陽光 (やました・ひかる)

1977年、長崎生まれ。高円寺の古着屋「素人の乱シランプリ」元店主。「途中でやめる」という名の服を発表するかたわら、戦後原爆ドームの前に出来たアトム書房の調査など、インターネットに転がるユニークな情報を探り、現代に接続する様々な活動を行っている。福岡県福岡市在住。

●下道基行 (したみち・もとゆき)

1978年、岡山生まれ。2001年武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業。写真や文章を表現手段に、モノ/コトの残り方/消え方や、目の前に広がる風景の在り方に興味を持ち、旅やフィールドワークをベースに、数多くの展示や出版等で表現を続けている。2019年の第58回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表作家に決定。愛知県名古屋市長在住。

●影山裕樹 (かげやま・ゆうき)

1982年、東京生まれ。雑誌編集部、出版社勤務後フリーに。数々のアート&カルチャー書の出版プロデュース・編集を行う傍ら、近年は各地の芸術祭やアートプロジェクトに編集者として関わっている。著書に『大人が作る秘密基地』など。東京都豊島区在住。

【会期】 2018年7月14日(土)～9月17日(月・祝)

【開館時間】 10:00～17:00

【休館日】 月曜日(7月16日、8月6日、9月17日を除く)  
7月17日(火)、8月7日(火)

【観覧料】 無料

アーティストトーク

「新しい骨董」の3名(山下、下道、影山)が来館しトークを行います。

日時：7月14日(土) 15:00～16:30(予定) ※参加無料、事前申込不要

広島市現代美術館

(学芸担当：松岡、竹口 広報担当：後藤、鈴木)

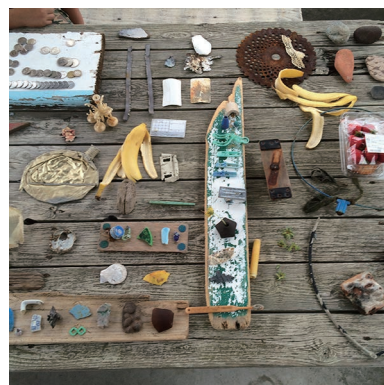
〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園 1-1

TEL/ 082-264-1121 (代表) FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ [hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp](mailto:hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp)



「新しい骨董」メンバー、2015年  
撮影：世古口まりか



「新しい骨董市」2016年  
撮影：下道基行

●「新しい骨董市」…新しい骨董が主宰する、拾ったゴミなどに価値を見出し販売や物々交換を行う。物に自分なりの価値を見出す楽しみを味わうと同時に、自らの価値観や物の考え方を見つめ直す経験を提供する。



●「ボトルキーブ」…飲食店で飲み物をボトルごとに入れて店に置いておくシステムを、新しい骨董は誰でも「新しい骨董ボトル」を入れて飲めるという、飲み物共有システムとして広めることを試みた。結果ボトルが100本以上入る店も出現(上は関連写真)。彼らの試みが現代社会において新しい消費や共有の仕組みを作る社会実験のようなものであり、それが成功した事例だといえる。